

神戸日独協会ドイツ語特別講座

「ドイツ語をより身近に、より深く」

第4回講座内容の変更

7月9日(土)の講座は「文法上の性の謎にせまる」を予定していましたが、前3回との関連から下記のように内容を変更します。

講座内容：表現としての形式

母語では我々は文章をまとまった全体として聞くのですが、外国語の場合には言いたいことを一語一語訳している人が多いようです。しかし、言うまでもなく、外国語を流暢に話したり書くのにも、文章を全体として把握することは欠かせないことです。今回の講座では、具体的な内容よりも先に各文体の組み合わせを決めてしまう学習方法を紹介します。

コミュニケーション場面によって各文体の組み合わせは異なります。ネットのブログ、スピーチ、文学作品、アカデミックなディスカッションなど、それぞれに独自の形式があります。それらの形式を踏まえて、各文体の組み合わせを内容よりも先に決めておけば、その文や段落の文法も概ね決まり、話がより流暢になります。また、逆に、使いたい語彙を最初に決めていれば、同じ内容をブログ風、スピーチ風、文学風などに表現できるようになります。

今回のシリーズでは、話法、様々なテキストの構成、丁寧な表現と話し書く場合の表現形式についてお話をしてきました。これまでのまとめとなりますが、これまで受講されなかった方も是非ご参加ください。

講師紹介：

神戸日独協会常務理事 Stefan Trummer-Fukada (元神戸大学教授)

神戸日協会会長 柘田義一 (神戸大学名誉教授)

授業形式：協会会議室での対面授業。オンライン(Zoom)併用。

定員：20名

お申込：電話(078-230-8150)またはメール(info@jdg-kobe.org)にて

受講料：会員1500円／一般2000円

※入金を確認次第、アクセスのリンクをお送りします。